

OS2

河道・洪水流の観測・モニタリング技術の  
進展と今後の展開

総合討議

# 話題提供・講演

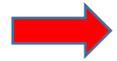
- 建設技術研究所・福岡さまからの話題提供



各種流量観測手法の比較.

現場での取り組み ⇒ 研究者とは違った視点.

- 中央大学・竹村先生からの話題提供



観測と解析の融合が不可欠な現象のメカニズム把握

解析との融合を前提にしたモニタリング項目等の再検討.

- 岐阜大学・原田先生からの話題提供



新技術の現場への適用 ⇒ 検証, 従来手法との比較など必須

どこまで測れるようになったのか. 論文集「報告」の価値.

- 国土交通省・藤巻さまからの講演



河川管理者のニーズ, 方向性.

防災・減災情報として観測・解析の融合への期待.

# 総合討議

- 論点1 基盤データとしての水位・流量観測の今後

現場での取り組みが増えてきた。

流量を最も重要な基盤データとして考えてきたが、それでいいのか？

水位観測の重要性を考えると、観測地点の配置など考え直さないといけないのでは？

- 論点2 目的の多様化, その中での解析との融合

目的	重要視すべき視点	解析との融合への期待など
基盤データとしての水文観測	精度, 信頼性, 堅牢性, 継続性...	精度向上, 効率化・省力化, 慎重な検討と段階的な改善
防災・減災に資する情報	迅速性, 機動性...	効果的な観測網(どこで測ればいいのか?) データ取得からアウトプットまでのシステムとしての評価 ⇒精度以上に迅速なアウトプットを狙った解析との融合
実現象の詳細把握	現象再現性, 精度...	観測・解析の融合を前提とした戦略的モニタリング 現象把握に基づく治水・防災・維持管理計画の高度化
総合土砂, 環境	長期, 広域, 階層性...	管理したいものと測れるものをつなぐ

# 総合討議

- 論点3 新技術の実務への展開可能性

- ①何が新しいのか？

- ②計測できる項目と把握したい項目との関係性

- ③既存観測をどう変えるのか？

- ④検証

- ⑤実運用上の課題

(今回、話題提供では取り上げられませんでした。)

- 論点4 地形・河床変動, 流域環境, 総合土砂モニタリングなどの要諦, 向かうべき方向性など..

# 総合討議

- 論点1 基盤データとしての水位・流量観測の今後
- 論点2 目的の多様化, その中での解析との融合

目的	重要視すべき視点	解析との融合への期待など
基盤データとしての水文観測	精度, 信頼性, 堅牢性, 継続性...	精度向上, 効率化・省力化, 慎重な検討と段階的な改善
防災・減災に資する情報	迅速性, 機動性...	効果的な観測網(どこで測ればいいのか?) データ取得からアウトプットまでのシステムとしての評価 ⇒精度以上に迅速なアウトプットを狙った解析との融合
実現象の詳細把握	現象再現性, 精度...	観測・解析の融合を前提とした戦略的モニタリング 現象把握に基づく治水・防災・維持管理計画の高度化
総合土砂, 環境	長期, 広域, 階層性...	管理したいものと測れるものをつなぐ

- 論点3 新技術の実務への展開可能性

(今回, 話題提供では取り上げられませんでした。)

- 論点4 地形・河床変動, 流域環境, 総合土砂モニタリングなどの要諦, 向かうべき方向性など...